

## 商品名 テイコプラニン点滴静注用200mg「トーフ」 医薬品基本情報

薬効	6119 その他の主としてグラム陽性菌に作用するもの	一般名	テイコプラニン200mg注射用
英名	Teicoplanin TOWA	剤型	注射用
薬価	1404.00	規格	200mg 1瓶
メーカー	東和薬品	毒劇区分	(劇)

### テイコプラニン点滴静注用200mg「トーフ」の効能・効果

敗血症、慢性膿皮症、深在性皮膚感染症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、膿胸、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染

### テイコプラニン点滴静注用200mg「トーフ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 腎機能障害<血液透析を除く>	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 腎機能障害、腹膜透析、血液透析	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 類薬で過敏症の既往歴、類薬で難聴の既往歴、本剤成分又は含有成分で難聴の既往歴、難聴、血液透析、肝機能障害、トラフレベルの血中濃度が60 $\mu$ g/mL以上	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

### テイコプラニン点滴静注用200mg「トーフ」の副作用等

1. ショック、レッドマン症候群、顔紅斑性充血、頸紅斑性充血、躯幹紅斑性充血、顔そう痒、頸そう痒、躯幹そう痒	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明

2. ショック、アナフィラキシー、気管支痙攣、血管浮腫、呼吸困難、顔面蒼白、発汗、頻脈、眩暈、耳鳴、聴力低下、第8脳神経障害、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、紅皮症、剥脱性皮膚炎、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少、急性腎障害、肝機能障害、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、Al-P上昇、γ-GTP上昇、総ビリルビン上昇、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 汎血球減少、血圧上昇、悪心、注射部位疼痛、静脈炎、悪寒、頭痛、菌交代症、そう痒、発熱、発疹、一過性血圧低下	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 過敏症、発熱、発疹、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、γ-GTP上昇、黄疸、LDH上昇、ビリルビン上昇、好酸球増多、貧血、白血球減少、BUN上昇、血清クレアチニン上昇、血圧低下	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. 動悸、食欲不振、下痢、嘔吐、痙攣	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
6. 眩暈、耳鳴、聴力低下、第8脳神経障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 無顆粒球症、白血球減少、血小板減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 急性腎障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、Al-P上昇、γ-GTP上昇、総ビリルビン上昇、黄疸	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 血清クレアチニン異常変動、一過性肝機能検査値上昇	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

## テイコプラニン点滴静注用200mg「トーワ」の相互作用

1. 薬剤名等：ループ利尿剤

**発現事象** 腎障害・聴覚障害を増強

**投与条件** -

**理由・原因** 腎障害、聴覚毒性が増強

**指示** 希望禁止

2. 薬剤名等：腎障害・聴覚障害を起こす可能性のある薬剤

発現事象 腎障害・聴覚障害を増強

理由・原因 腎障害、聴覚毒性が増強

投与条件 -

指示 希望禁止

## テイコプラニン点滴静注用200mg「トーワ」の配合変化

1. 薬剤名等：乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン

発現事象 白濁、沈殿

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

2. 薬剤名等：ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン

発現事象 白濁、沈殿

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

3. 薬剤名等：ガベキサートメシル酸塩

発現事象 白濁、沈殿

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

4. 薬剤名等：アムホテリシンB

発現事象 白濁、沈殿

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

5. 薬剤名等：ミノサイクリン塩酸塩

発現事象 白濁、沈殿

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

6. 薬剤名等：セフォチアム

発現事象 本剤の活性低下

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止

7. 薬剤名等：大塚糖液5%

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

8. 薬剤名等：マルトス輸液10%

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.